

四番、高吉(たかよし)

「搔き分けて 参りて
拜む 高吉の 仏の光
道ぞ かがやく」

真言宗 吉例山 徳勝寺
喜多方市豊川町字高吉四四一五
本尊 十一面観世音 集落管理
駐車場 あり
トイレ なし

喜多方駅南、桐桜高校の南に位置して
います。創建は不明ですが、文亀(ぶん
き)の頃、(一五〇一〜三)に僧の盛尊が中
興したという。元和七年(一六二一)に火
災で堂と本尊は焼失し、その後再建され
ています。本尊は高さ二尺あります。



集落内道路狭し。

五番、熱塩(あつしお)

「後の世を たすけたまえや
観世音 慈悲熱塩に
参る 身なれば」

曹洞宗 護法山 示現寺 住職住
喜多方市熱塩加納町熱塩字熱塩甲七九五
本尊 千手観世音
駐車場 あり
トイレ なし

もとは真言宗で五峰山慈眼寺と称しま
したが、源翁和尚が再興し、曹洞宗とな
り示現寺と書きます。本尊の観音像内は、
源翁和尚が刻んだ像とされています。境
内には、幕末明治時代に活躍し、日本初
東京浅草、浅草寺境内に女性銅像として
建てられた瓜生岩子の墓や、自由民権運
動の慰霊碑があります。



山門前に駐車。足湯あり。かなづちの「げ
んのう」は玄翁和尚が由来です。

六番、勝(すぐれ)

「日照るとも 耶麻の氷は
よもとけじ 里に しぐれの
あらん かぎりは」

真言宗 紫雲山 勝福寺
喜多方市関柴町三津井字堂ノ上六三〇
本尊 十一面観世音 集落管理
駐車場 あり
トイレ あり☆

堂は国重要文化財指定
天文(てんぶん)年中(一五三二〜五四)
に「勝(すぐれ)御前」がわけあつてこの
地で亡くなったため、冥福を祈り、中将
政保が勝福寺を開基したという。その後、
永禄元年(一五五八)に葦名盛興(もりお
き)が観音堂を建立したとされます。観音
像は六尺三寸という。



仁王門から入ります。国重文指定の堂。「陽
照るとも」は「日照るとも」、「山の」は
「耶麻の」が正しい。



七番、熊倉(くまぐら)

「ふるさとを はるばるいであて
熊倉の 仏に参る
身こそ 安けれ」

浄土宗 紫雲山 光明寺、住職住
喜多方市熊倉町字八三七
本尊 千手観世音
駐車場 なし 路駐
トイレ なし

寺は、永正十七年(一五二〇)鎌倉から来た僧の江月が開基したもので、天正十七年(一五八九)伊達政宗の会津進攻により焼失します。本尊の千手観世音像のみ残して焼失したという。堂内の千手観世音像は一尺七寸五分とされています。米沢街道の熊倉宿にあり、会津戦争では会津藩が勝利しています。西軍戦死者墓があります。



境内は駐車禁止です。道路に駐車。

八番、竹屋

「けさの日は はるか竹屋の
観世音 急ぎ参りて
おがめ 旅びと」

曹洞宗 大雲山 観音寺 住職住
喜多方市塩川町中屋沢台畑丙六九七
本尊 如意輪観世音
駐車場 あり、狭いので路駐
トイレ なし

観音像は県指定文化財
天正元年(一五七三)新潟県阿賀町中村から木翁快元という僧が本尊の如意輪観世音を移して建てたものです。その後、慶安四年(一五六一)現在地に移されています。如意輪観音は片膝を立てていて、当時の座産のスタイルに近いことから、安産に靈験があるとされています。



道路に駐車。本尊は県指定文化財。

九番、遠田

「後の世を 願う心を
照らすらん とお田の 沖に
いづる 月影」

曹洞宗 福聚山 大光寺 住職住
喜多方市塩川町遠田字谷地中三二二七
本尊 千手観世音
駐車場 あり
トイレ なし

平安時代には、三重塔や三十六に及ぶ堂舎があったと伝えられています。観音堂は、当時七間四方あり、柱には金がちりばめられ、日橋川に映っていたという。その後、荒廃し、越後から来た安翁という僧が再興したという。観世音像は、三尺五寸とされています。



集落内道路狭し。



十番、勝常(しようじょう)

「いくたびも 歩みを 運ぶ
勝常寺 生まれ 会津の 中のみ仏」



現存する寺院では、会津一の寺院。文化財が多数保管されています。駐車は、離れた村営駐車場へ。

国宝、重要文化財多数
本尊は国宝。堂と仏像は国重要文化財
平安初期の薬師三尊が本尊です。平安
初期の仏像十二体が国宝・重要文化財で
す。本堂の地に講堂、仁王門地に金堂が
あり、その南に大門、三重塔が東西に
あったという。会津五薬師の中央薬師で
す。戦乱の兵火にも会わず残された寺で
す。一時荒廃した時に、強盗により文書
などが失われたとされています。

真言宗 瑠璃光山 勝常寺 住職住
河沼郡湯川村勝常字代舞一七六四
本尊 十一面観世音
駐車場 あり
トイレ あり

十一番、東原(つかはら)

「昔より 誰が建てそめし
古敷きの 久しかるべき
東の原かな」



堂前に駐車。集落内道路狭し。「東の原かな」は「塚の原かな」と江戸時代は呼ばれていた。

もとは塚原と書きましたが、同名が
喜多方にあるため古くに書かれた東原
に戻しました。阿賀川(大川)の西側に
位置しています。文亀(ぶんき)二年
(一五〇二)には、僧の源順がいたとい
う。明暦元年(一六五五)には、日光の
妙道院の門徒となったという。像は、
一尺八寸の像で、寺の本尊は、地藏菩
薩で、観音堂には、一尺八寸の馬頭観
音座像が安置されています。

天台宗 瀧古山 満蔵寺
河沼郡会津坂下町東原字東一五一六
本尊 馬頭観世音 集落管理
駐車場 あり
トイレ なし

十二番、田村山

「千早ふる 神も まことの
住の江の 重ねがさねの
森のしめ縄」



参道に駐車。集落内道路狭し。「神ぞまことの」は「神もまことの」、「住吉」は「住江」、「杜の」は「森の」が正しい。

もとは、会津若松市北会津町の下荒井
にあつて蓮華寺六坊の一つ養泉院でした。
天正十七年(一五八九)伊達政宗の進攻に
より焼失し、宥覚という僧が現在地に移
転したという。現在の堂は、住吉神社の
北にあり、明治三十六年に建てられたも
のです。堂の南には「産(うば)清水」と
いう湧水があります。神社南の畑内には
上杉景勝が飲んだという景勝清水があり
ました。

真言宗 福聚山 養泉院 宝田寺
会津若松市北会津町和合字堂ノ下甲一四七
本尊 聖観世音 集落管理
駐車場 なし、路駐
トイレ なし



十三番、館(たて)

「はるばると 参りて 拜む
よしみ寺 仏のちかい
新たなるらん」

真言宗 福聚山 観音寺
会津若松市北会津町館一七
本尊 聖観世音 集落管理
駐車場 あり
トイレ なし

戦国時代に、東に位置する田村山集落の田村山氏が、分家を置いて開き館を築いていたことから「館」といいます。会津若松市の大町の一柱院の末寺で、天正三年(一五七五)に円智が中興しますが、天正一七年(一五八九)伊達政宗の進攻により焼失し、その後再興されず。本尊は、六寸といいます。



堂前に駐車。

十四番、下荒井

「高のやま よそに 嵐の
下荒井 三鈷の松の
のりの 朝風」

真言宗 松命山 蓮華寺
会津若松市北会津町下荒井六〇
本尊 聖観世音 集落管理
駐車場 あり
トイレ なし

下荒井には、康暦元年(一三三九)、葦名氏直盛の弟が城を築き、仁範が蓮華寺を開基したといわれています。その後、葦名氏四天宿老の一人、富田氏の居城となり、下荒井城といいました。その北東には、日蓮宗の妙法寺がありました。天正十七年(一五八九)伊達政宗の進攻で焼かれました。堂は、集落北にありましたが寛永中廃寺となり、現在地に移されました。



堂前に駐車。境内に三鈷の松、飯豊山神社があります。「高野山」は「高の山」、「在らじの」は「嵐の」が正しい。

十五番、高瀬

「乗り得ても 心許すな
あまお舟 高瀬の 波は
時を 嫌わず」

曹洞宗 吉高山 福昌寺
会津若松市神指町高瀬八一
本尊 十一面観世音 集落管理
駐車場 あり
トイレ あり☆

慶長五年(一六〇〇)上杉景勝・直江兼続によって築かれ、築城途中で中止となった神指城二ノ丸北東の堀跡に寺があります。承安二年(一一七二)金売吉六が応湖川を船で渡ろうとしたとき、船が転覆し溺死したことから寺が建立されます。永禄・元亀(一五五八〜七二)の頃、黄金の観音像が盗まれたという。



堂前に駐車。集落内道路狭し。高瀬集落は神指城築城時湯川村に移転しました。



十六番、平沢

「参り来て 浮世を ここに
忘れ置く 心及ばぬ」

「広沢の月」

曹洞宗 広沢山 国性寺

会津若松町北町大字中沢字平沢四一九

本尊 聖観音 集落管理

駐車場 あり

トイレ なし

湯川と今は無い応湖川が神指町の高瀬で合流し、広くなっていたことから広沢と呼ばれていました。後に平沢と呼ばれ、当時は、西二百餘の墓地に寺がありました。文禄元年（一五九二）に林郭という僧が建立し、本尊は釈迦如来像です。観音堂には、一尺二寸の聖観音立像が安置されています。



堂前に駐車。集落内道路狭し。寺は「国姓寺」ではなく「国性寺」、「平沢の月」は「広沢の月」が正しい。

十七番、中ノ明

「参るより 頼みを かけし
観世音 沼木の沼に
うかぶ水鳥」

「うかぶ水鳥」

真言宗 明吉山 密蔵院 観音寺

会津若松町北町中ノ明

本尊 聖観世音 集落管理

駐車場 あり

トイレ なし

三十三観音の中間にあたることから中ノ明が選定されました。天文中（一五三二〜一五四）宥業という僧が中興したとされています。北の屋敷集落西にあった「沼木の沼」に毎夜、光明があり、村人が沼を探ると木の中に一尺八寸の観世音像があったというので堂が建てられました。戊辰戦争で焼かれています。



堂前に駐車。

十八番、滝沢

「滝沢の 落ちて 流るる
滝の水 かかる末ずえ
弥勒なるらん」

「弥勒なるらん」

一箕山 瀧沢寺

会津若松市一箕町滝沢

本尊 聖世音 集落管理

駐車場 なし、路上駐車

トイレ なし

元は、会津若松市一箕町の一箕山にある八幡神社境内にありました。今でも、拝殿の西に堂が残っています。明治の廃仏毀釈により、一時は姫神社とも呼ばれていました。その後、現在地に建てられました。東側には、修験者が滝修行に使用した不動滝があります。



砂利道に駐車。山中・川底の道を徒歩10分。

